

誰もが住みやすい街 なごやへ



## 多文化共生を知っていますか？



名古屋には140を超える国・地域出身の約8万人の外国人が暮らしています。名古屋で生まれた方、日本人と結婚されている方、名古屋で働いている方、学校に通っている方などさまざまです。それぞれの国には、それぞれの文化や慣習があるため、その違いを知り、お互いを認め合い、共に幸せに生きていくことが多文化共生です。



### ジェイエル・バレールさん

出身:アメリカ合衆国

名古屋に来て、3年。現在は、名古屋市の国際交流員として、困っている外国人の通訳支援や行政文書の翻訳などの業務を担当しています。

#### 日本に来て違いを感じたこと

日本人はできるかできないか聞くと、できないときに「難しい」と答えます。アメリカでは、「難しい」と言われると、「難しいけど、できる」と肯定的にとらえます。日本人が柔らかく伝わるように使った言葉でも、外国人には逆の意味で伝わってしまうことがあります。他にも、日本には子ども会や町内会など、アメリカには存在しない組織があり、組織そのものの概念や活動のイメージが全く分からず最初は困惑しました。

### 名古屋国際センター ☎ 581-0100

名古屋国際センターの情報カウンターでは、さまざまな相談に日本語をはじめ9言語で対応しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。



### ■多文化共生推進月間シンポジウム

世界で活躍するスポーツ選手と多文化共生と一緒に考える

オンライン開催(申込不要) 視聴はこちら→



会場でもご覧いただけます↓

|    |                        |    |    |                                            |
|----|------------------------|----|----|--------------------------------------------|
| 日時 | 8/24(火)<br>午後1:30～2:30 |    | 場所 | 名古屋国際センター<br>(中村区那古野一丁目47-1)               |
|    | 人数                     | 申込 |    |                                            |
|    | 先着50人                  |    |    | 8/12(木) 午前9:30～<br>電話・ファクス・Eメールで下記問い合わせ先まで |

8月は、名古屋市多文化共生推進月間です。皆さんの周りにも年々外国にルーツのある方が増えているのではないのでしょうか。外国人と接する際は、簡単な日本語で話しかけてみるなど身近なことから心掛け、お互いの文化を理解し、より多様性のある住みやすい街なごやを作りましょう。